

## 地域金融連携

### ①浜松いわた信用金庫/FUSE

「シリコンバレーエコシステムを取り入れたイノベーション創出拠点「FUSE」の創設、および地域の起業家育成のための総合的伴走支援事業」（2023年全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞）

受賞理由：FUSEは浜松いわた信用金庫が2020年6月にイノベーション創出・起業家支援拠点として浜松駅近くの商業施設内に設置した起業家育成のための施設である。特筆すべきは伴走支援スタッフとして経験豊富な信金職員9名が常駐し、起業家育成を行っている点である。スタッフには、シリコンバレー駐在経験者、行政やメガバンク出向経験者などがおり、経験やネットワークを起業家支援に活用している。産学官連携のリアルな拠点として、地元上場企業、大学関係者、行政職員らが常に集い、コミュニティを形成し、気軽に相談できる仕組み、イベントなども随時実施し、地域にとって掛け替えのないイノベーション創出拠点となっている。特に、シリコンバレーでの経験・知見を生かしながら様々な視点から起業家支援を行い、スタートアップの育成支援にも注力している。このように極めて先進的な取組が展開されてきており、今後の成果拡大が大いに期待できると高く評価された。

#### （実施者）

浜松いわた信用金庫/FUSE

#### （事業の背景及び経緯）

弊庫が営業エリアとする静岡県西部地域はものづくり産業が集積しており、特に自動車産業、オートバイ産業、楽器産業も本社を構え光産業の集積も盛んで、それら下請け産業も含むピラミッド型の産業構成となっている。現在、自動車産業は、100年に一度の変革期にあると言われており、今後の脱炭素化の推進によるEV化が進展する中で、エンジン部品を主力とする中小製造業にとっては新事業分野への進出も考慮したEV化への対応が喫緊の課題となっている。その中で、地域と運命共同体ともいえる信用金庫は地域産業を支えていく使命を有しており、持続的な経済の発展を支え、雇用環境を維持していくことが、弊庫にとっても持続的に成長していくこととなる。

弊庫は、2017年より職員を米国カリフォルニア州シリコンバレー（受入先はスタンフォード大学）へ派遣し、世界の潮流を直に見て知り、世界のトレンドをキャッチすることで、地域にパラダイムシフトを起こそうというもので、現在3代目が駐在中である。そして、シリコンバレーで得た知見を地域に還元していくために何ができるのかを検討の結果、常時、人が集まる場所、コミュニティの場を作ることが地域にとって必要ではないかと考えた。その場所を通じて、産学官が連携を強化し、地域全体でイノベーション創出の気運を高め、そこに伴走型の支援を合わせて提供していくことで、今後の地域の発展への一助となるのではないかと期待した。

#### （事業内容）

2020年6月に、オープンイノベーションハブ拠点「FUSE」（コワーキングスペース、シェアオフィス、イベントスペース、トライアルキッチン、デジタルファブリケーションスペース等の各構成施設を一体運用）を開設し、弊庫職員が9名常駐して、起業家育成のための伴走支援を行っ

ている。本施設は産学官連携のリアルな拠点として、地元上場企業、大学関係者、行政職員らが常に集い、気軽に相談できる仕組みであり、地域にとって掛け替えのないイノベーション創出拠点となっている。

FUSE の主な支援対象は、①スタートアップ・ベンチャー企業、②既存の中小企業で新規事業を目指す部門、③大企業の新事業開発部門である。これは弊庫の既存取引先を含めて地域全体がイノベーションに取り組み、FUSE コミュニティ（FUSE 有料会員に限らず関係を保っている者も含む）を形成していくことで、FUSE が着火点となり地域に大きな新産業創出のうねりを起こすことを目指している。

また、施設を中心としたハードの提供だけではなく、ソフト支援として、シリコンバレー駐在をはじめ様々な業務経験のある職員による各種相談（経営、金融、ファンド出資、起業、スタートアップ設立、大企業とのオープンイノベーション、マッチング、販路開拓、補助金等）に加え経営の役立つイベント（リアル、オンライン）を随時開催し、ハードとソフト支援の融合により、価値ある伴走支援体制を提供している。なお、全国の 254 の信用金庫のうち、シリコンバレーへ駐在者を送っているのは、今までに弊庫のみである。

## （成果）

- 1) 2021 年 7 月の FUSE の本格稼働以降、会員数は増加の一途となり、現状 210 名が契約している。

会員状況			会員構成		
区分	2021.7.1	2023.3.31	属性区分	先数	%
一般会員	83	145	中小企業	67	31.9
法人会員	4	23	スタートアップ	44	21.0
学生会員	8	17	フリーランス	34	16.0
大学等	18	25	学生	17	8.1
合計	113	210	大企業	15	7.1
			その他（大学ほか）	33	15.7
			合計	210	100.0

一般会員：月額11,000円(本人のみ)  
 法人会員：月額33,000円(3名まで)  
 学生会員：月額 2,200円

## 2) FUSE のこれまでの活動実績

- ◆各種セミナー等の開催 2021 年度(92 件、参加人数 2,324 人)  
 2022 年度(94 件、参加人数 1,884 人)

### ◆相談対応件数

2021 年度 162 件（創業・新規事業展開 105、マッチング 22、資金調達 12 他）  
 2022 年度 506 件（創業・新規事業展開 285、マッチング 141、資金調達 32 他）

### ◆視察受入等件数

2021 年度 142 件（行政等 27、金融機関 14、民間企業等 101）  
 2022 年度 285 件（行政等 62、金融機関 45、民間企業等 178）

### ◆当金庫ファンド投資

2021年以降 8件 290百万円（うち FUSE メンバー 4件 115百万円）

◆クラウドファンディングサイトとの新規提携（READYFOR(株)に加え、2021年：(株)マクアケ、(株)FUNDINNO、 2022年：(株)クリームと提携）

◆2021.7 浜松市とスタートアップエコシステム形成に向けた相互協力及び連携に関する覚書締結

◆2021.8 総務省戦略的情報通信研究開発推進事業における「異能 Vation ネットワーク拠点」に参画

◆FUSE KITCHEN のリニューアルスタート(2022.4～)：フードディレクターを起用した運用開始

### 3) ダイバーシティ（外国人会員の増加）

FUSE 会員にはスタッフも含めて海外経験者が多数おり、浜松においても英語が通じる「ビジネスコミュニティ」として認知度が向上。外国人会員も少しずつながら増え、会員間においても、英語を話そうという気運も生まれ、外国人会員も含めた交流会も自発的に行われている。

#### （事業に取り組んで苦労したこと）

##### 1) 会員の確保（口コミ、評判のみで新規利用者を継続的に獲得）

FUSE 会員の募集においては、新たに事業を行おうとしている者を軸としているため、コワーキングスペースのドロップイン（日帰り）利用は行っていない。一方で、金融機関が直営する起業家支援拠点として、ベクトルが同じ方向の会員が集まることで、会員間の啓蒙効果も大きく、評判による会員獲得につながっている。

また会員には、弁護士や税理士、知財事務所等も名を連ねており、職員だけでは対応できない専門領域の相談が会員間で行えることが施設の価値向上につながっている。さらには、大学関係者（教員、コーディネーター）や、行政・支援機関の方も会員相談のための自由な出入り可能としており、産学官連携の発生を促している。

FUSE としては、ミートアップイベント等を通じて、地域の交流を促進させ、偶発的な出会いによる案件創出など、今まで地域でできなかったことができるようになった意味合いがとても大きい。

##### 2) 駅近という好立地条件（車社会の困難さを克服）

浜松は車社会であり、家と会社の往復が車で、異業種との出会いが少ないという地域の弱点があった。この弱点克服のため、利便性の良い浜松駅近くの街中の一等地に人の集まる場所として FUSE を設置しアクセスの良さをとともに、「起業や新事業にかかわる相談やイベントは FUSE！」という意識醸成を図っている。

#### （事業の成功要因）

##### 【ハード面】

◆金融機関直営で主要駅近くに、全国最大規模の施設面積約 2,000 m<sup>2</sup> のワンフロア、コワーキングスペース、シェアオフィス、ファブリケーションスペース、イベントスペース、トライアルキッチンを一体運用しているしたイノベーション拠点である。

##### 【ソフト面】

◆各種イベントやアクセラレータープログラムを提供している。

- ◆施設スタッフに経験豊かな金庫職員が常駐し、会員のあらゆる経営相談に対応している
- ◆スタートアップの資金調達相談へ対応（弊庫の自前ファンドから出資も可能）
- ◆シリコンバレーのベンチャーキャピタルへの出資とともに、スタンフォード大学へ弊庫職員を駐在者として継続派遣させて情報収集している
- ◆行政・大学等との強固なアライアンスによってソリューションを提供している

